



赤磐市はどのように変わるのか

去る 3/23 の市長選・市議選で予想を超える新旧交代がありました。興が冷めないうちに個人的な感想を記しておきます。今回の選挙結果が十分反映されないままに年月が過ぎてしまうかもしれない、偏見を承知で思うままを述べます。とは言え老爺の呟きですから読み流されて結構ですが、折り返し忌憚なくコメントいただければ幸いです。

岡山県は自然環境に恵まれ、鉄道や道路が発達して住みよいのですが、**赤磐市**に目を凝らせばインフラの歪^{いびつ}が目立ちます。警察や高校も大事ですが、山陽団地の老朽や、赤坂中心部・町苅田を通り抜ける県道の不備、桜が丘では中央未利用地と周辺保安林の放置が問題です。市役所前の特定郵便局に ATM がない、付近にコンビニもない、本庁舎が整備されて少しは便利になるかと思いましたが相変わらず。誰も言わないのが不思議です。

拙稿「赤磐市はこのままでよいのか」の 2 篇で指摘したように課題が山積しています。殊にごみ処理については、基本計画が甘かったからではないかと見ています。

様々な問題は行政の怠慢か、判断ミスによるものです。根底に、自分で考えるよりもコンサルに頼る習慣があるように思います。当市には学者や実務経験を積んだその道のエキスパートが居るのに「住民の言うことは素人の考えだから・・・」と上層部が指示しているようにさえ思えるのです。上司が「オレが責任とるから、お前たちは思うようにやってみろ」と、思い切った提案には職場全員が問題を共有し、必要なら外部の考えも取り入れる度量がなければなりません。今話題の拠点整備がどれほど検討されて来たのか、山陽 IC が開通してから 30 年も経つのに、外資（外敵？）コストコが現れて慌てふためいてるのではありませんか。地産地消が万事の基本です。

市長選の結果：3 期続けた前市長は土木工学を専攻した工博で都市計画などに手腕を期待しましたが、目立った成果がないばかりか、重要課題のごみ処理最終処分場建設が未着手のままです。前副市長だった次期市長は行政通のベテランと見られ、今後を期待しています。選挙戦では具体的な政策を掲げていませんが、初めの議会で述べる施政方針に注目しています。

										4	
26										5	
27										6	3

トップに立つ人が確かな理念と実行力を持ち、職員だけでなく市民からも慕われる人望を期待しています。

市議選の結果：定員 18 名でうち 5 人が新旧交代、新人の 2 人が 40 歳で多くの市民が驚いたと思います。概して保守的な岡山で注目すべき結果に違いありません。次に、縁あって私が支援した新人について述べます。

横山裕太：40 歳 福島県出身 東京で企業勤務を経て、3 年前に当地中山間域に移住 移動スーパーで生計を立てながら赤磐市議選に出馬、上から 2 位 1713 票（3 位と 421 票差）を得て当選

今から考えると上位当選にはそれなりの訳があったのですが、何より彼の志、他人を惹きつける人柄、更に一途な努力です。ドイツの森以来 30 年の親しい仲間によれば、吉井再生のために若者をとムラをあげて応援し予想範囲だった由。山間の 3 年では孤立無援と思っていたのが、地元で 50 代の頼もしい仲間が選挙スタッフとして実務を支えました。北の横山裕太、南（熊山）の行本大輔、2 人の 40 歳が議会に新しい風を吹き込む期待が膨らんでいます。移動スーパーのチラシを読んでわかったのは、オーガニック食品が売り、赤磐市を中心に日生・津山・岡山市東区まで広範囲に、スケジュールを公表して営業、組織がなければできないことで彼はその代表です。個人演説会で質問に答えて移動スーパーを今後も続けると話しましたが、住民の暮らしを知り話を聞くことが議員活動に資すると考えているようです。

《貼付資料：①市議選の横山チラシ ②移動スーパーのチラシ ③吉井の知人宛て支援依頼の私信》

拝啓

3月になって降雨があり朝夕の冷込みが和らいできましたが お変わりなくお過ごしのことと存じます。ここに日頃のご無沙汰をお詫び申し上げます。

申すまでもなく来る 23 日の市長・市議の選挙が間近になりました。吉井地区からの顔ぶれをご承知とは思いますが、**横山裕太**にご支援をお願いする次第です。

彼は関東から移住して 3 年ですが、初めて会ったときから なぜ暮田にと思ひながら 1 年近く経ちました。別紙 内海 聡氏の「クスリを使わない」活動を広めながら仲間を作り、その一人が私だったかもしれません。先の衆院選に立った原田謙介の近づきだったことから政界への意欲と立ち位置がわかり、今回の市議選への立候補でそれが具体化しました。これから先、市議会でもリベラル派の一角を担うものと期待しています。

私事ですが 30 年前に、ドイツの森の造成工事に携わったことから 故延原令岱兄との出会いがありました。令岱さんは（暮田出身の朝日新聞記者を父に）大阪生まれで、偶然にも我が長男の妻の母と国民学校の同級生で福知山の寺に集団疎開も一緒だったことがわかりました。こんなご縁のお陰で中山間の風土と地元農家の仲間に、不慣れな仕事にも慣れることができました。残念ながら 3 年後に肘を痛めて退職しましたが、当時の仕事仲間との交流が今も続いていることを嬉しく思っております。

《同封の拙稿について》 昨年の暮れ 90 歳になり、脳の老化を意識しながらも健康でおれるのは有難く、過去に無かった当地の住環境のお陰と感謝するばかりです。その一方で、遅々として進まない行政への要求を遠慮なく下記①②のように発信しています。ご一読の上ご批判をいただければ幸いに存じます。

- ① 赤磐市はこのままでよいのか : まちづくりについて
- ② 赤磐市はこのままでよいのか (II) : 人づくり・教育について他
- ③ 老爺が見る夢 : これさとオーガニックファーム訪問記他

上は厚かましいお願いと拙稿のお届けですが、よろしく願いいたします。 敬具

2025 年 3 月 10 日

#赤磐市を
「日本一生活しやすいまち」へ

無所属

生活最優先!!

- 負担軽減 / (子育て支援など)
- 農家を守る /
- 事業見直しによる財源確保

個人演説会

3/18

◎

19:00-20:00 (18:30受付開始)

吉井会館 多目的ホール

赤磐市見渡1-10-1

3/20

◎

13:30-14:30 (13:00受付開始)

根が丘いきいき交流センター 大ホール

赤磐市根が丘3-301



投票は
こちらから
チェック



よこやまゆうた

2児の父 40歳

・ ・ これからの赤磐市は ・ ・

視野を変える：南隣の旧瀬戸町が岡山市になったのは残念ですが、JR瀬戸駅が地域交通の要である現実を無視できません。商工会や医師会に倣って、行政の枠をこえた密な連携があって然るべきです。警察署や県立高校が市内に無くても構わない、当時の関係者が縄張りに拘った結果であって、若い世代は考え直すべきだと思っています。

例えば、両市間の分水嶺を赤磐市側は磐山〜観音山と名付けて かつての里山を復元しつつありますが、岡山市瀬戸町側とは一部の人を別にして殆ど交流がありません。山火事への対処が切実ですが、動植物の観察やハイキングコースの設定・整備に境界は不要です。話が飛躍しますが、間に立ちはだかる山にトンネルがあれば、砂川沿いの窮屈な県道の混雑が一挙に解決するのにとすることがあります。

市役所職員の意識改革：平成大合併まで町レベルでの部制は山陽町と真備町（現倉敷市）だけだったためか、旧山陽町職員は周辺の町よりも偉かったらしく、今もその意識が抜け切れていないように思いますが誤解でしょうか。公務員の矜持は当然、公僕を意識して住民に接してもらいたいと思います。企業従業員は自らが課した目標に向かって懸命に働きますが、巷では公務員を“お日様西々”と揶揄する人がいます。昔話だったらいのですが。当市も目標管理と提案制度を導入し、役職に応じた職務に励まれるように望みます。

大事なことは市民参加で：広報誌でパブリックコメントを求めているからと担当者は思っているかもしれませんが、窓口で閲覧するとか ホームページを覗かなければなりません。現役世代は多忙、高齢者は外出しにくいPCを持たないなどで、拠点開発についても**市議会だより**で知るだけ、具体化したときには遅かったとなります。中央公民館で公聴会があっても、時間が十分でなく質疑応答が限られて不満が残ります。新しいプロジェクトの場合は初期段階から計画をオープンにして広報してもらいたいのです。

中心市街地を蘇らせる：市役所前の広大な企業工場を近くの工業団地に移して、ここを緑豊かな市民広場にすることを提案します。山陽団地から近く 新旧県道に挟まれた立地を活かして、様々なイベントに、憩いの場に、世代と地域を越えて多くの市民が集うことができる赤磐市の“核“になります。夢でなく、実現すべき願望です。これは新市長と議員諸氏へのお願いでもあります。

以上、4年ぶりの選挙の結果について私なりの拙い所感です。

ご一読いただき、何なりとご批判、ご感想を賜ることができれば有難く存じます。

(おわり)

2025.4.6

中西 卓

赤磐市桜が丘西8-25-8

Tel: 086-608-1321 E-mail: naktak@sky.megaegg.ne.jp